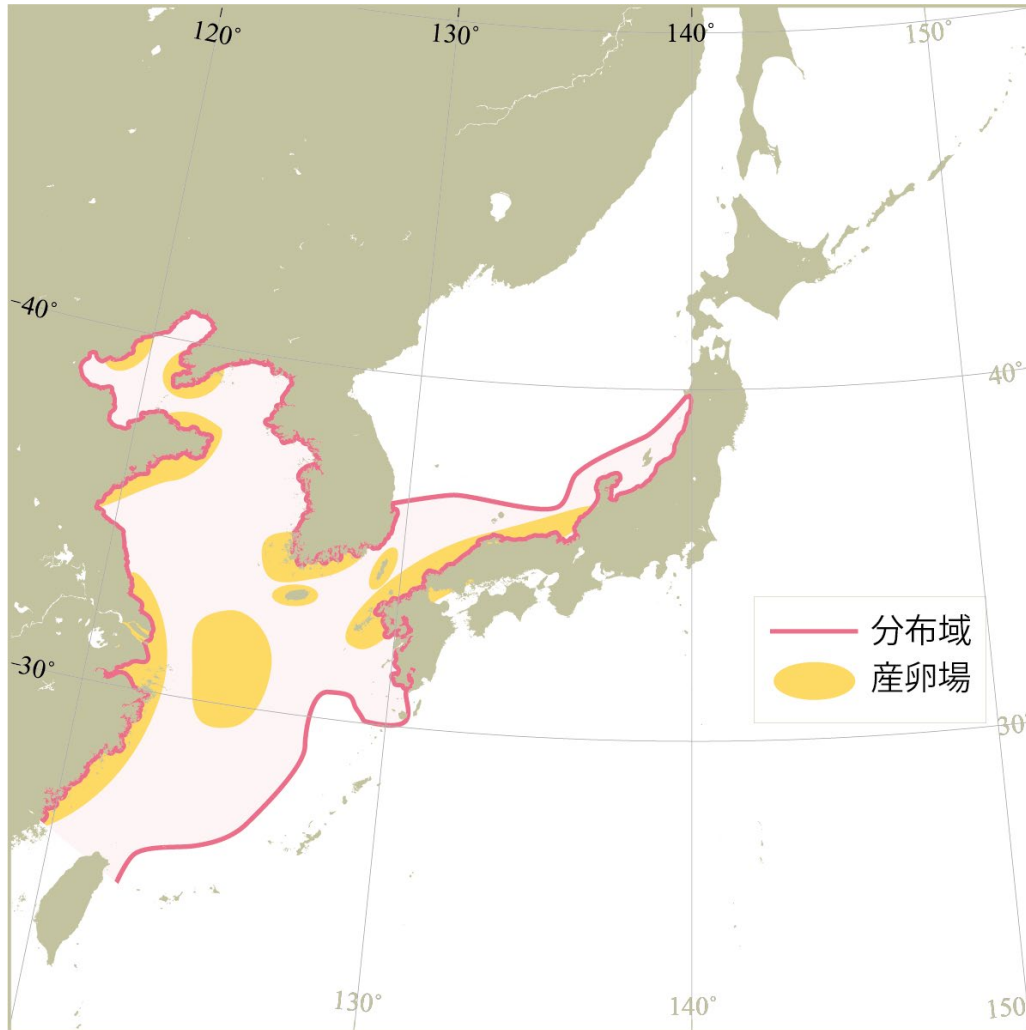




タチウオ日本海・東シナ海系群 令和3年度資源評価結果

生物学的特性

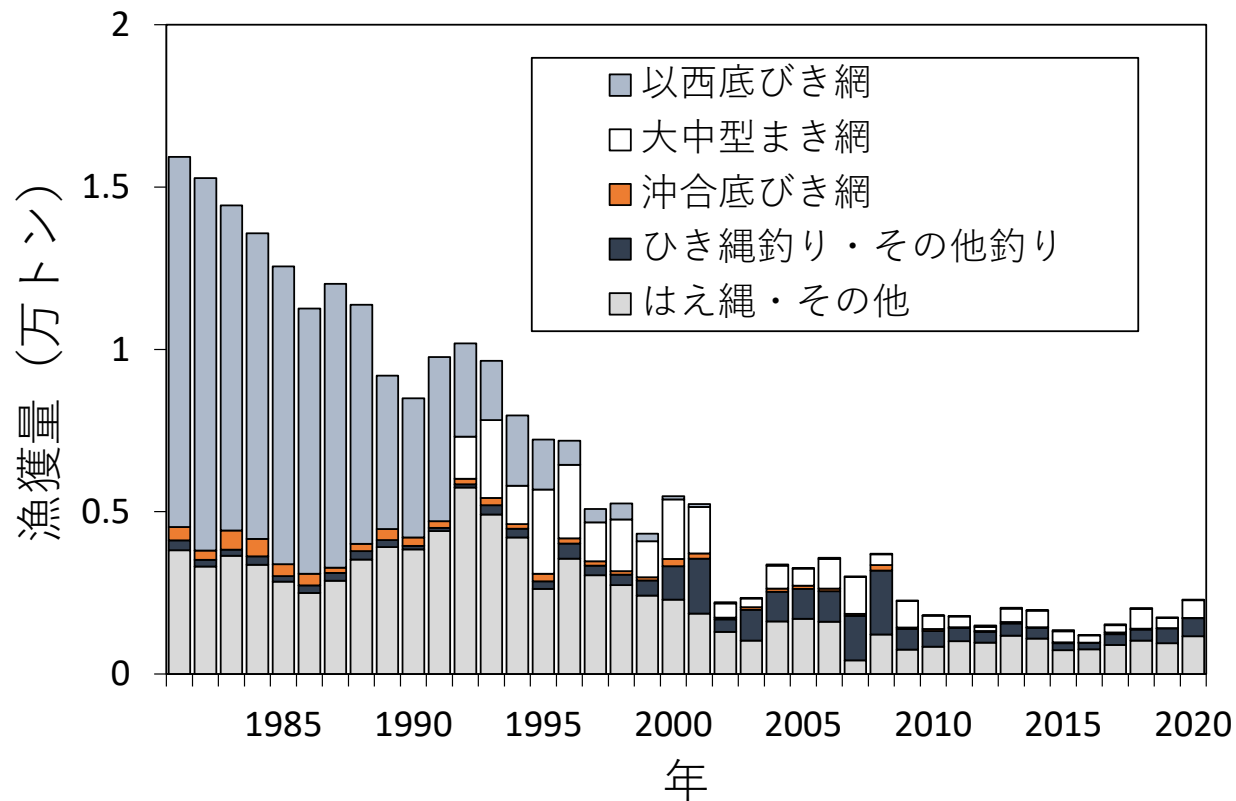


生物学的特性

- 寿命: 8歳程度
- 成熟開始年齢: 1歳(40%)、2歳(80%)、3歳(100%)
- 産卵期・産卵場:
産卵期は日本海西部海域では秋季、東シナ海では春季。
産卵場は主に黄海・渤海を含めた中国沿岸および我が国沿岸
- 食性: 小型個体は小型甲殻類、中・大型個体は小型魚類
- 捕食者: 共食い(越冬期、産卵期に多い)

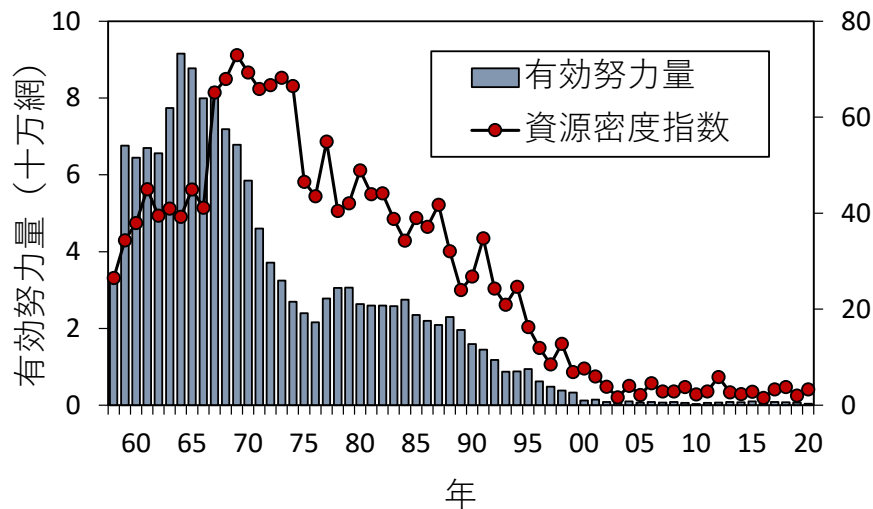
- ・ 年齢別成熟率は資源状況等により変化することが示唆されており、海域や年代の差が大きいと考えられる

漁獲の動向①

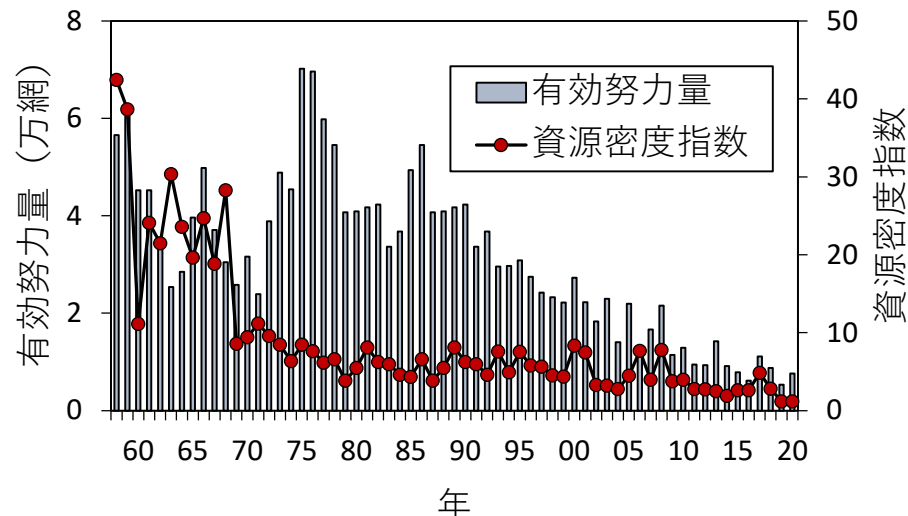


- 2020年の漁獲量：23百トン
(2019年の漁獲量：17百トン)
- はえ縄・その他の漁業の割合が高く、次いでひき縄・その他釣り、大中型まき網が多い

漁獲の動向②



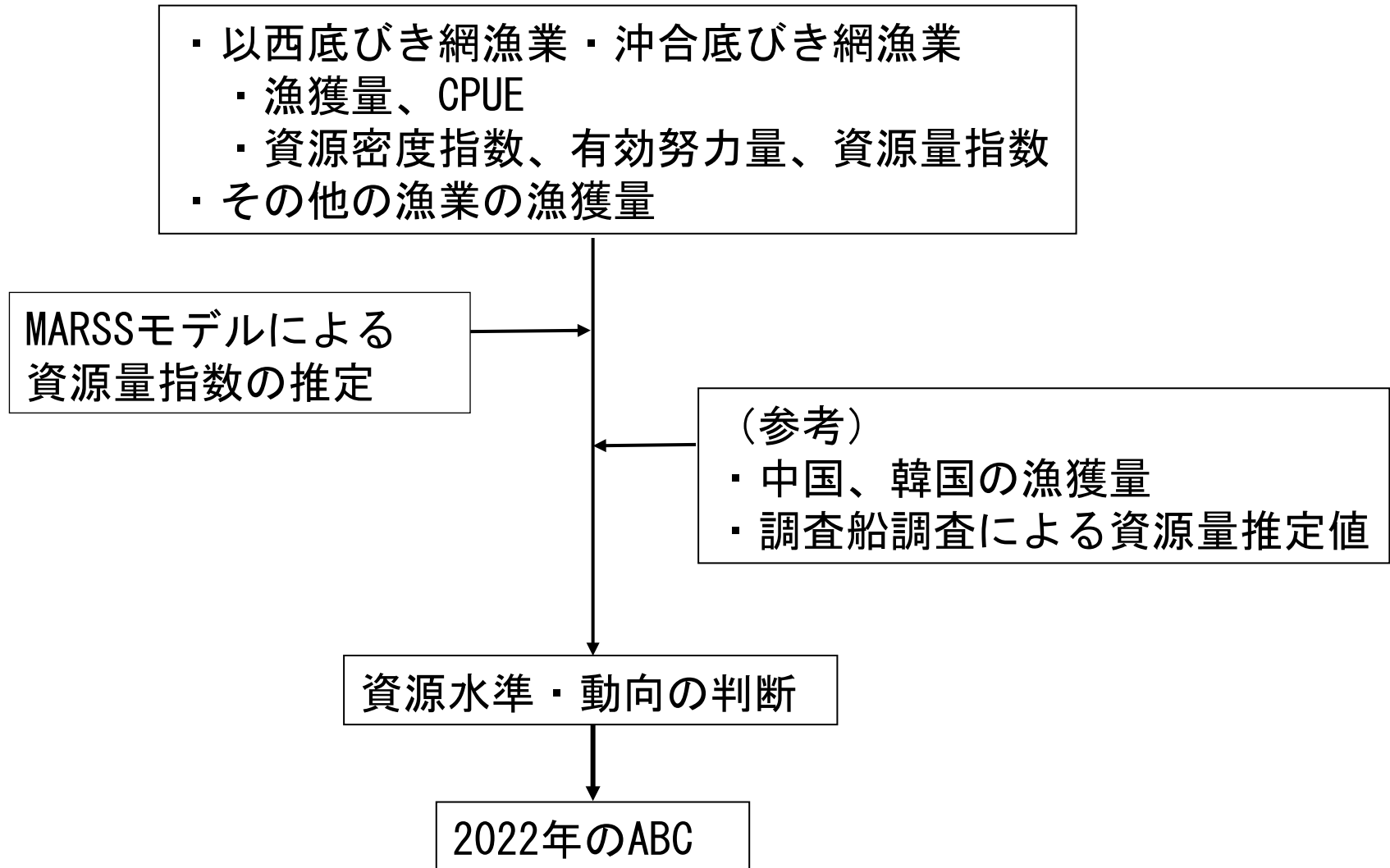
※以西底びき網漁業の有効努力量と資源密度指数



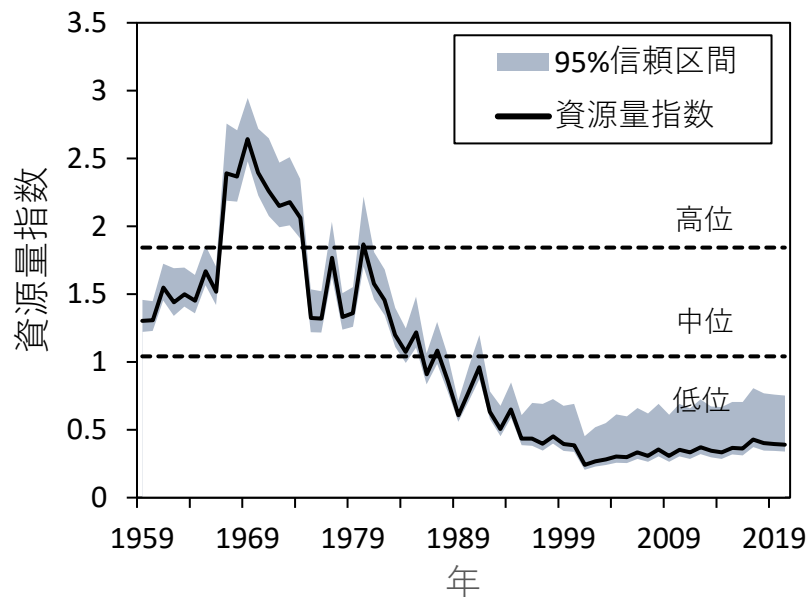
※沖合底びき網漁業の有効努力量と資源密度指数

- 以西・沖底ともに有効努力量は減少で推移しており、2020年の以西ではおよそ4,000網、沖底ではおよそ8,000網

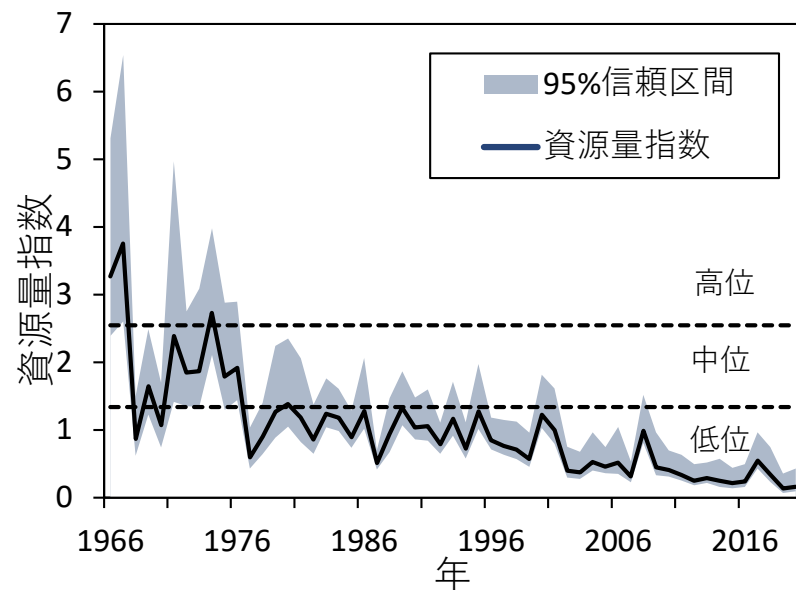
資源評価の流れ



資源の動向①



※東シナ海全域における資源量指数の推移

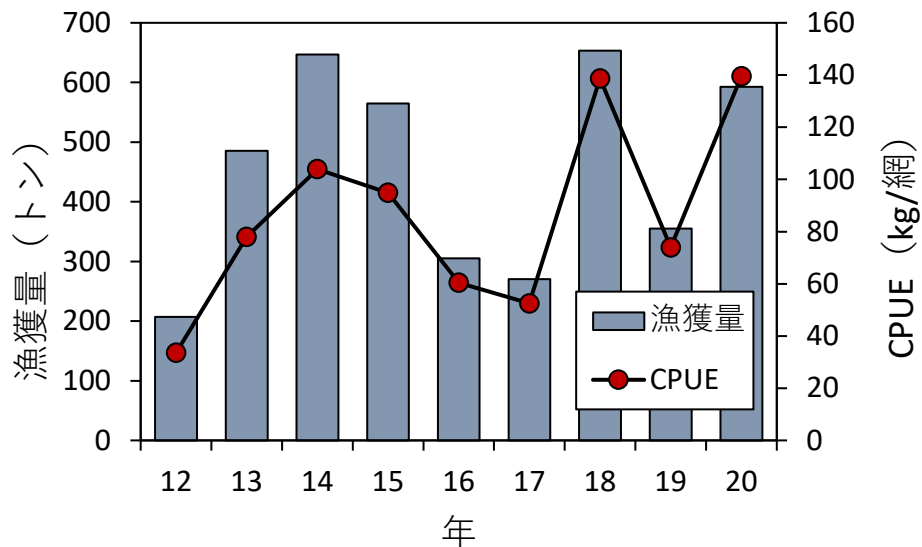


※対馬海峡～日本海南西部海域における資源量指数の推移

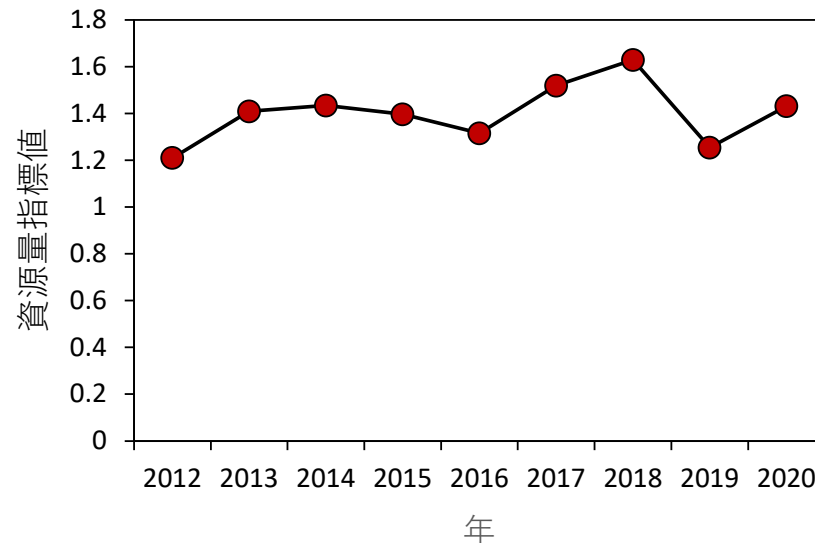
※水準区分：資源量指数の最高値と最低値の間を三等分し、それぞれを低位、中位、高位の境界とした。

- 資源水準：MARSSモデルで資源量指数を推定した結果、以西（左図）、沖底（右図）ともに水準は「低位」

資源の動向②



※大中型まき網の漁獲量とCPUE



※資源量指標値の推移

- 資源量指標値は以西・沖底の資源量指数と大中型まき網一網あたりの漁獲量 (CPUE) の相乗平均から算出
- 資源動向：資源量指標値の推移から動向は「横ばい」

資源評価のまとめ

- 資源水準は低位、動向は横ばい
- MARSSモデルによる以西・沖底の資源量指数の推移および大中型まき網のCPUEの推移から資源状態を判断

2022年のABC

管理基準	Target/ Limit	2022年ABC (百トン)	漁獲割合 (%)	F値
0.7・Cave3-yr・0.93	Target	11	—	—
	Limit	13	—	—

- 0.7 : 資源水準が低位かつCaveを用いた場合の推奨値
- Cave3-yr : 2018~2020年の平均漁獲量
- 0.93 : 資源量指標値の推移より算出